

平泉町学校施設長寿命化計画概要版

(令和2年3月)

1. 計画策定の背景と目的

本町の学校施設は、未来を担う児童・生徒の基礎学力を身につける学びの場であり、日常生活の多くの時間を過ごす生活の場でもあります。また、地域住民にとっては、地域活動の場であり、非常時や災害時には避難所としての役割を果たす重要な施設でもあります。そのためにも、安全・安心に、学校施設を利用できるように維持する必要があります。本計画は、平泉町公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設計画として、小中学校の3校11施設の学校施設を対象に、現状の把握・分析に基づき、今後の学校の在り方と維持保全の方向性を検討するとともに、施設の劣化状況の評価を行い、整備改修の優先順位を勘案した学校施設全体の中長期的な施設整備の方針を定めることを目的とします。

2. 計画期間

本計画の期間は、令和2(2020)年度から令和11(2029)年度の10年間とします。なお、本計画における維持・更新コストの試算対象期間は40年とします。また、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCAサイクルによる実行システムを構築したうえで、計画を5年ごとに見直すものとします。

3. 学校施設の目指すべき姿

当町の学校施設の目指すべき姿について、「平泉町教育大綱」や「学校施設整備基本構想の在り方について」等の上位計画を踏まえ、下記のとおり整理します。

1. 学習活動への適応性を確保する施設環境

2. 安全性・快適性を備えた施設環境

3. 地域活動の拠点施設としての施設環境

4. 学校施設の実態

当町の学校施設は、小学校2校、中学校1校の合計3校となっています。児童生徒数は若干の減少となっており、平泉人口ビジョンによる推計では、今後も緩やかな現象が続く推計となっております。

【学校施設一覧】

学校名	延床面積	児童生徒数		学級数	
		通常学級	特別支援	通常学級	特別支援
平泉小学校	4,954㎡	264	9	10	2
長島小学校	3,700㎡	83	1	6	1
平泉中学校	5,556㎡	183	10	6	3

【児童生徒数の推移】

学校名	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)
平泉小学校	302	300	306	294	297	284	273
長島小学校	97	84	81	86	91	89	84
平泉中学校	205	202	202	184	175	183	193

また、施設関連経費については、令和元年度に空調設備工事費が大きく計上されましたが、それ以外の維持修繕費や、光熱水費等については、過去5年間平均は、約3000万円/年となっております。

5. 学校施設の老朽化の実態把握

劣化状況評価は、「構造躯体の健全性」と「構造躯体以外の劣化状況」に分けて評価します。

構造躯体の健全性は、建築年度から耐震基準を把握し、それを基に躯体の長寿命化について判定します。全ての対象施設は、新耐震の基準で建築しているか耐震工事を行っております。

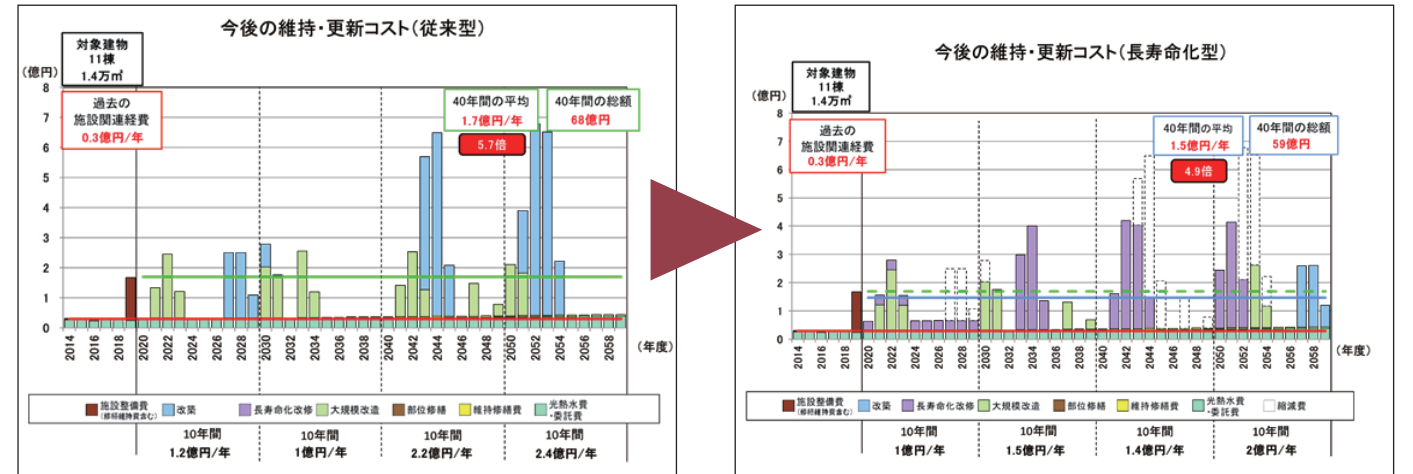
構造躯体以外の劣化状況評価は、本計画の対象施設について、建築基準法12条点検結果等の既存の資料を参考に評価を行っています。また、建築基準法12条の点検を行っていない施設については、現地において劣化状況調査を実施し、AからDの4段階で評価を行っています。(A:概ね良好、B:部分的に劣化、C:広範囲に劣化、D:早急に対応する必要がある)

【劣化調査の結果】

施設名	建物基本情報					躯体以外の劣化状況評価							
	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
平泉小学校	屋内運動場	008	S	2	1,257	2001(H13)	18	B	B	B	B	B	75
平泉小学校	校舎	010-1	RC	2	2,606	2002(H14)	17	B	B	B	B	B	75
平泉小学校	校舎	010-2	RC	2	1,091	2003(H15)	16	B	B	B	B	B	75
長島小学校	校舎	012	RC	2	2,675	1993(H5)	26	B	B	B	B	B	75
長島小学校	屋内運動場	013-1	S	1	825	1994(H6)	25	B	B	B	B	B	75
長島小学校	連携施設	013-2	S	1	200	1994(H6)	25	B	B	B	B	B	75
平泉中学校	屋内運動場	004	S	2	1,318	1977(S52)	42	A	B	C	C	C	55
平泉中学校	柔剣道場	006	S	1	460	1979(S54)	40	C	B	C	C	C	50
平泉中学校	校舎	008-1	RC	2	1,854	2010(H22)	9	A	A	A	A	A	100
平泉中学校	校舎	008-2	RC	2	206	2010(H22)	9	A	A	A	A	A	100
平泉中学校	校舎	008-3	RC	2	1,718	2011(H23)	8	A	A	A	A	A	100

6. 長寿命化効果の試算

文部科学省の長寿命化計画策定に係る解説書付属Excelソフトによる計算結果は下記のとおりです。年間約0.2億円のコスト削減効果があると試算されます。



7. 学校施設長寿命化計画の基本的な方針

平泉町公共施設総合管理計画における公共施設の管理・運営に関する基本的な考え方を踏まえ、学校施設の長寿命化の基本的な方針を次のとおり定めます。

1. 施設の長寿命化の推進

2. 中長期的な財政負担の平準化

3. 地域活動に対応した施設の活用

また、目標使用年数と改修周期は下記の通り設定します。

目標使用年数 80年 / 大規模改造周期 築20年及び60年 / 長寿命化改修周期 築40年

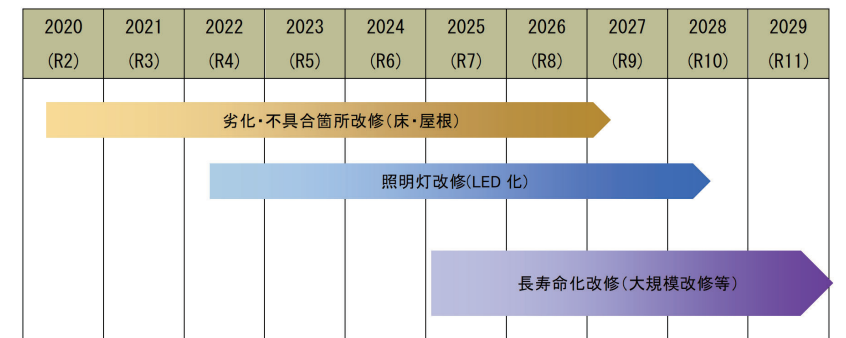
8. 長寿命化の実施計画とコストの見直し

実施計画については、部位改修を最優先に実施し、長寿命化改修や大規模改造については築年数と健全度を参考に実施順を検討します。1~5年目として、床や屋根等の不具合箇所の改修や、水銀灯の交換などの施策への対応を優先して実施し、その後に学校施設の長寿命化工事を、施設ごとの優先順位を確認しながら進めていく計画とします。

また、長寿命化の効果について文部科学省解説書付属ソフトによる計算結果から、長寿命化改修を実施することにより、年間約1.7億円のコストを、約1.5億円/年へ縮減できるものと算出しました。

これについては、今後の実施設計の作成時に、効果をさらに高められるような検討を行います。

【10年間の実施計画】



9. 長寿命化実施計画の継続的運用方針

本計画を継続して運用していくために、下記の3つの項目について、PDCAサイクルによるフォローアップを実施しながら、継続的なマネジメントを実行します。

- 情報基盤の整備と活用
- 推進体制等の整備
- フォローアップ

【PDCAサイクルによるフォローアップイメージ】

